工業っ子

NO.028
―発行日―
2008.10.24
―編集―
長崎工業高校新聞部
―発行―
長崎工業高校新聞部

誇りと意地と秋空と
長工体育祭

十月十二日。秋晴れの中第一グランドにて、長工秋の一大イベント“体育祭”が幕を開けました。

今年から十月に開催。例年より準備期間が短く、慌しい感じがしました。しかし、気候面では暑すぎず寒すぎず。ちょうど良い日となりました。保護者の方や地域の皆さんは朝早くから見えられ、賑やかな体育祭となりました。

今年も始まりは各科気合いの入った行進。午後には長工パレード。各競技もみんな力を入れて取り組んでいました。

◀喜びの分かち合い！

▶#”$%&‖☆＊ぁ～！

▲俺の腕力！俺の筋肉！

▼電気！ファイト！

支え合って…人。

行事の秋、スポーツの秋、食欲の秋、勉強の秋…。

ものづくりにインターハイ、マイコン、ロボコン、体育祭。長工生がひときわ輝いた秋。多くの活躍の裏には必ずあったもの。チームワーク。

日本一・三位入賞を果たした「ものづくり」。放課後、休日、夏休み、練習に励む選手の周りには常に指導される先生方、手伝う先輩、同級生がついていました。

悲願のインターハイ優勝を果たしたヨット部。幼い頃から共に切磋琢磨してきた仲間、そして三嶋先生。お互いの強固な信頼関係が成り立ってこそ獲得できた日本一だと思います。

マイコンは一人一台、個人競技のようですが、制作段階から皆で試行錯誤。本番では応援に駆けつける生徒も。選手同士でも同じ科のマシンに声援を送り、完走を自分の事のように喜んでいました。

ロボコンも決して一人ではできない競技。全員でロボットを造る。先生、生徒の壁を越え、小さなアイデアをかき集め。独自の動きを生み出す。本番でも操縦者と誘導者の見事なコンビネーションが見られました。

そして秋といえば体育祭。総合四連覇を果たした機械科。代々の誇りを受け継ぎ、何としても優勝したい三年生。そんな三年生を支え優勝しようと頑張る一、二年生。応援も盛り上がり、まさに団結力のたまものでした。例年になく全ての科が力強い行進を見せた今年。機械科に限らず各科の意地、団結力が目立った体育祭だったと思います。

同じ目的、同じ目標なのにすれ違い、衝突する。困難を共に乗り越え、より上を目指す。頑張る人の姿を見て、自分も頑張ろうと思う。輝かしい姿、活躍の裏にはチームワークが不可欠だと思います。

八つの科があり三年間同じメンバーで過ごす長工。クラス、科。自然とチームワークを学ぶことが出来る場所だと思います。自分の科に誇りを持ち、伝統を受け継いでいきましょう。

▶一番目指せ

▲ぴょん♪

必勝法▼

今年の各部門の優勝は、
―競技部門　M科
―行進部門　E科
―応援幕部門　I科
―パレード部門　A科
となりました。

それぞれ平成一六年度からの四連覇を成し遂げました。長工の体育祭で最も盛り上がるパレードでは、A科がオリンピックを題材としたもので最優秀賞。応援幕では常連に近いI科が最優秀賞でした。

体育祭終了後、各科の責任者にインタビューに行きました。

M科　競技部門優勝

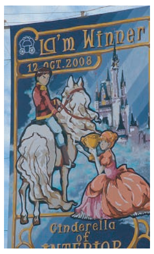
Q何に力を入れましたか？
―全部。四連覇するために応援など、すべてにまんべんなく力を入れました。
Q今の気持ちを一言。
―うれしい！
Q競技部門優勝のパワーはどこからきましたか？
―科全体の応援。
Q科のみんなに一言。
―自分を責任者にしてくれてありがとうございます！

E科　行進部門優勝

Q何に力を入れましたか？
―行進。
Q大変だったことは？
―行進がそろわなかったところ。
Q科の皆にひとこと。
―みんなお疲れ様。
Qどうやって一・二年生を引っ張りましたか。
―「出来ることは全力で」をモットーに。

I科　応援幕部門優勝

Q何に力を入れましたか？
―応援幕。
Q大変だったことは？
―遠くから見たときの色のこゆさの調整。
Q科のみんなに一言。
―大好きです！



▲不動のインテリア！

A科　パレード部門優勝

Q何に力を入れましたか？
―パレードです。
Q大変だったことは何でしたか？
―曲を決めること。
Qパレード優勝のパワーはどこからきましたか？
―ノリとテーマ。
Q科のみんなに一言。
―最高です。

▲長工版オリンピック！

P科

Q何に力を入れましたか？
―パレードに力を入れた。
Q大変だったことは何ですか？
―みんなをまとめることと団結させること。
Q科のみんなに一言。
―感謝っす。

C科

Q何に力を入れましたか？
―行進に力をいれました。
Q何かハプニングはありましたか？
―本番のパレード。
Q科のみんなに一言。
―一・二年生ありがとう。

D科

Q今の気持ちは？
―俺たちはこんなもんじゃねぇ！
Q大変だったことは？
―パレードの踊り。速度についていけなかった。
Q科のみんなに一言。
―思い出をありがとう。

J科

Q今の気持ちは？
―優勝を目指していたので悔しいです。
Q科のみんなに一言。
―ハプニングとかあったりしたけどお疲れ！

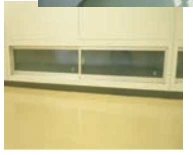
▲建築一家！

「長工で数えてみよう！」
～もちろんこれも初級編～

最近周囲の人から活動中に励ましの言葉を頂く機会が増えた新聞部です。一部の人からは「何をしているのか…」という呆れた言葉も聞きます。が、そんな言葉に負ける私達ではありません！今後も活動している姿を見たら引き続き、応援よろしくお願いします♪

今回のターゲットは「窓ガラス」―透明ガラスとすりガラスに分け、二学期から増えた部員も加えての初めての「数えてみよう！」

窓・窓・窓▶


◀おっと、足下に窓

今回はカウンターが大活躍！（野鳥の会の人たちが鳥を数えるときに使うあれですよ♪）スタスタと歩きながらカチカチカチカチ。窓ガラスを見つけるたびにカチカチカチ…。何度親指がつりそうになったことか。

何度も校内を巡っている新聞部。どこにあるか大体分かっていたので朝飯前♪コンセントよりも大きい、一目で分かる、数えやすい。といって、簡単なわけではありません…。例えば、校長室前。ふと足下をみると小さな窓が…驚きました。あんなところにあるとは。

▼さて結果は…
〈透明ガラス〉二四六〇枚
〈すりガラス〉三三二四枚

ちなみに、窓ガラス一組は約三五〇〇円。すりガラス一組は約八〇〇〇円。学校で工夫して買っているため多少安いそうですが、やはり窓ガラスは高価。最近、廊下で箒を使って野球をしている人などを見かけます。窓ガラスを割れば大きな怪我につながり、痛い目にあいます。体だけではなく懐も…よく考えましょう。

数えてみよう番外編
ねばねば、それは…

突然ですが皆さんはお気づきですか？長工のいたるところについている黒い斑点を。ガラスのついでに気になり数えた**ポイ捨てガム**。

結果は……
とれたガム…八八九個
とれないガム…八八二個
合計…**一七七一個**
（教室の外のひさしは除く）

ファミリーマートでは十四粒入り百二十円。計算すると長工で一万五千二百四十円の消費。高校生の一ヶ月の携帯代以上！

ガムとりに行くたびに数が増えているガム達。「ガムとり」は臭い！取りにくい！ねばねば！かなり大変。これを知らないうちに踏んでいると思うと…ガムがおいしいのは分かりますが、ポイ捨ては止めましょう。（もちろん紙に包んで捨てるのもダメです！）

▲長工の現状

▲プロの技

青春日記
番外編
先輩の日常②

皆さんこんにちは！華の新聞部OGです。

現在、私は北九州にある九州職業能力開発大学校（愛称ポリテクカレッジ）に通っています。大学って授業もあんまり入ってないし高校よりラクだよね☆なんて軽いノリ…とんでもないなんだこの学校！授業全部詰まってるじゃないの！毎日大量の課題を出され、毎日何かの〆切日なんじゃないかっていう強迫観念にとらわれ…楽しい大学生活は始まって早々幕を閉じた気がします。

しかし、そんな毎日も楽しい我が家＝寮があるから乗り切れるのです（キラキラ☆）。

寮の夜はひたすら友達や先輩とだべる！だべる！だべる！つらい課題もみんなでやればこわくないのです。しかし、寮にも一つだけ欠点が…。それは一日の食事の総カロリーがまさかの…三〇〇〇カロリー。えぇ～ぇぇええ～コレ毎日食べたら確実に太るでしょ！残したい、残したいけど…一生懸命料理しているおばちゃん達を前に、誰が残すことができるというのですか？そんな冷たい人に私はなりたくありません！もう太ってても知ーらない。ってことですっごい太っちゃいました☆はっはっはっは！

なんだかんだで頑張っています！みなさんも毎日全力でいきましょう！まさか高校を卒業してまで文章を書かされるとは思いもしなかったけど、大好きだよ新聞部☆これからも新聞部をよろしくお願いします！

キラリ、長工生 ―技術の秋

運も実力！ マイコンカーラリー 優勝

九月二十七日土曜日。本校第一体育館にて、第一回マイコンカーラリー開催！参加校は長崎・佐世保・大村・鹿町、島原の工業高校五校。

午前中は試走、点検、車検。車体は一見同じ形に見えても個人個人の工夫がありました。

試走を終えた選手に調子、意気込みなどをインタビューしました。

▲個性的なマシンたち☆

Q意気込み！

―D：とりあえず二十番以内。

―M：あの人のために！（塩田君）

―P：出来るだけ最高タイム！

―J：優勝狙って頑張ります！

Q当日の試走を終えてマシンの調子は？

―D：いまいち。

―M：まぁまぁ。

―P：全然ダメ。

―J：絶好調です。

Q弱点は？

―D：名前が「濱崎走」。製作時間のなさ。

―M：ほこり。タイヤが滑ります。

―P：右ハーフチェンジ。

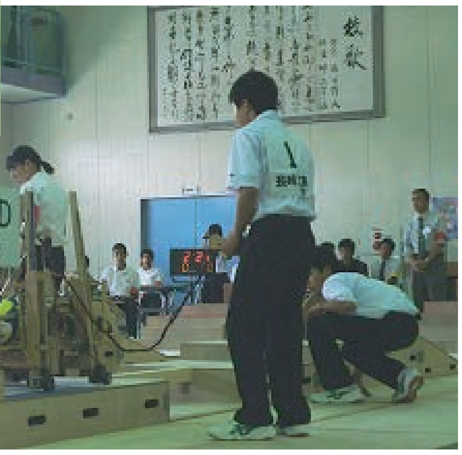
―J：車体の出来にまだ不安が。

スタート直前！緊張…▼

午後から開会式。まずは予選。勝負は一瞬わずか数十秒！なかなか動き出さなかったり脱線したり。多くのマシンがゴールまで辿り着けず悔しい表情の選手。完走したマシンには観衆からの大きな拍手、歓声！

全体のうちタイムの早かった上位八名が決勝トーナメントへ。うち三人は長工。準決勝J3森君と大工生の対決！スタートからいい勝負。会場全体が見入る程のデッドヒート！…結果は0.02秒差で森君勝利！両選手に大きな拍手が送られました。

決勝は森君対谷川君。長工J3対決！抜きつ抜かれつの接戦。最後は森君が先にゴール！…と思いきや寸前でひっかかり後ろから来た谷川君がゴール！大逆転劇でした。競技終了後にはチャレンジレースも。マイコンの世界シェアNo.1、ルネサステクノロジの島津さんと優勝者谷川君が対決！島津さんが途中でコースアウト。谷川君の勝利！谷川君の運の強さに驚きました。


◀独創的マシンに大きな歓声。

今回初めての開催となった長崎県大会。テレビ局の取材も！

優勝した谷川君、ルネサス島津さん、テレビ局の方にインタビュー！

▼谷川君

Q優勝の気持ちは？

―何も言えねぇ～！運も実力のうち。

▼島津さん

Qどのような感想を

―いろんなバリエーション、工夫がみられた。谷川君には完敗！

Q今後の工業生に求めることは？

―理科離れが叫ばれている。良い技術者になってほしい。

▼テレビ局

Q今大会、楽しめましたか。

―最後の最後まで楽しめた。運もあるけど、優勝した人は一度もコースアウトしなかった。「運も実力のうち」と言うが、地道な努力があったからこそだ。

九州大会は十一月九日、熊本県にて開催。全国目指して頑張れ！

俺のハートも◀バッチバチや！

個性が大事！ ロボットコンクール 三位

十月四日、大村工業体育館で行われたロボットコンクール。

今回長工からは、機械科「ヤナギンダー」機械工作部「食い倒れ小澤くん」機械システム科「竹々輪」建築研究部「木木木林ＭＡＤ」工業化学科「ＣＣ」が出場。

《大会前のインタビュー》

Q１ロボットの名前、性別、性格、趣味、年齢は…
Q２大会前の気持ちは・・
Q３セールスポイント。
Q４意気込み。
Q５一番お金をかけた物。

【機械科】

Q１ヤナギンダー、男、オタク、人間観察。
Q２ドキドキ。でも操縦は大丈夫。
Q３かわいさ。
Q４全国行きます。
Q５モーターと人件費。

【機械システム科】

Q１竹々輪、女、ひねくれ者、エコ！３２才。
Q２楽しみ。
Q３竹で作ってます。
Q４とりあえず大阪。
Q５ほとんどかかってない。

【機械工作部】

Q１食い倒れ小澤くん、男、きまぐれデリケート、ダイエット、五ヶ月。
Q２武者震いしてます。
Q３スマート！
Q４大阪に行く。
Q５フレームの材料費。

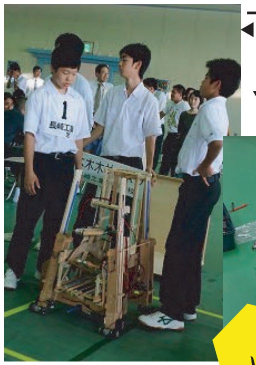
【建築研究部】

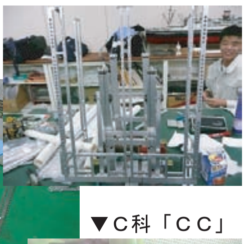
Q１木木木林ＭＡＤ、不明、ショートしやすい、練習、半年。
Q２もの凄く緊張。
Q３足を伸ばす、開脚する。
Q４県大会がんばって全国行けたらいきます。
Q５モーターは４回壊した。

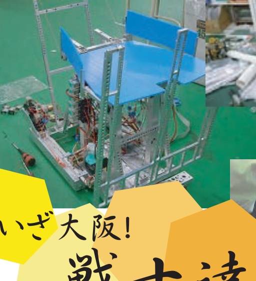
【工業化学科】

Q１ＣＣ。女。無邪気。露出。卍解。乳児。
Q２化学科の意地をみせる。
Q３スタイル、スリム、穴。
Q４うん僕がんばるよ！
Q５アルミパイプ。

予選では、各チーム二回ずつ競技しタイムを競い、上位八チームが決勝に出場。クリアチームが八チーム未満の場合、最も軽かったロボットが決勝に出場。今年の課題は難しく、多くのチームがクリア出来ず。長工からは「木木木林ＭＡＤ」と「ＣＣ」の二つが決勝進出！予選を終えた各チームにインタビューしました。

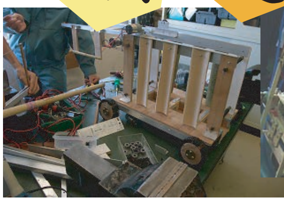

◀建築研究部「木木木林ＭＡＤ」


▼M科「ヤナギンダー」


▼機械工作部「食い倒れ小澤くん」

▼C科「ＣＣ」

いざ大阪！ 戦士達


◀P科「竹竹輪」

▼決勝進出の二チームへ。

Q１今の気持ちは？
Q２目標は？

【建築研究部】

Q１一回は勝ちたい！
Q２全国大会！

【工業化学科】

Q１まじ意外！軽さで決勝行けるなんて！
Q２ボールを一個は取る！

▼予選敗退の三チームへ。

Q１ロボットの調子は。
Q２だめだったところ。
Q３終わってどうですか。

【機械システム科】

Q１最悪だった。初めて走らせた。
Q２計画性のなさ。
Q３S・Y、何で？

【機械科】

Q１ホント全てに運がない。
Q２人選ですね。練習不足。
Q３悔しい。不完全燃焼…。

【機械工作部】

Q１あんまりよろしくない。
Q２操縦者のテクニック。
Q３大村強すぎた。

結果、**木木木林３位！**

全国大会出場！

予選から圧倒的な強さを見せたのが、大村工業のこの三機。三つ子とも言えるこの三機。違いは色だけ！タイムは操縦者の腕次第。難題をすり抜ける無駄のない動きと速さでクリアした。ただ、動きに変化が無く、見ている側としては木木木林の方が面白かったです。

▼大村工業に聞く！

Q３つとも同じなのはなぜ

―時間、性能を同じにし、より高めるため。

Q独自のマシンを作りたいとは思いませんでしたか。

―ちょっと思ったよ。

▼審査員の方にも！

Q大村工業の同じ作りのマシン３体がアイディア賞でしたが、優劣をつけるのは難しかったですか

―ほぼ一緒のつくりでしたからね。審査員のトータル。

Qどんなところがいいと思いましたか

―徹底して全国一を目指しているところ。

Q他に気になるマシンはありませんでしたか

―「木木木林」

▼ポスター最優秀I１大久保由香さんにインタビュー。

Q最優秀の感想は？

―とにかくうれしかったし、信じられなかった。

Q思いつきのきっかけは。

―テーマからいろいろ案をだし、決めた。

Q難しかったところは。

―ロボットに迫力を出すこと。細かいところが多く、集中力が必要だった。

Qたこ焼き好きですか？

―たこ焼き大好き！

飛び散る火花！ 溶接 三位

九月二十八日、長崎高等技術専門校で溶接大会が行われ、同会場で高校生部門、一般部門で競技が行われました。長工からはP１・M２から三人ずつ出場。緊張でガチガチのP１に対し、M２は余裕のある雰囲気で臨んでいました。

競技前、準備された溶接棒などをもらい、溶接しやすいように板を斜めに削っていました。アーク（溶接棒から出てくるもの）からは約四千度から五千度の火花が。雷と同じ原理を使い溶接をしていきます。強い光をはなっていたので目がとてもチカチカしました。

溶接されたばかりの鉄板はとても熱く近づくだけで熱気が感じられました。

▼競技を終えた選手を直撃！

選手の皆さんにインタビューしました。

Q試合中どういう気持ちでしたか。

―緊張していない。（P）

―緊張した。（M）

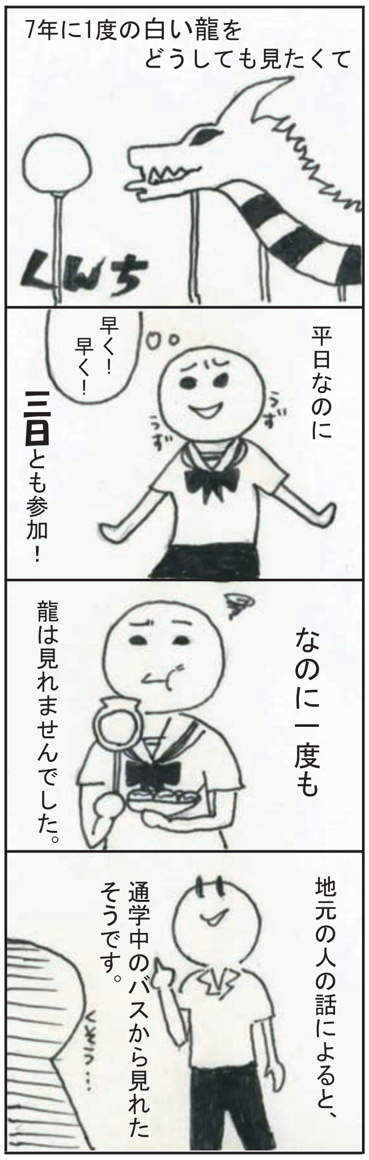
競技の合間に一般部門も見学。さすがプロの技！綺麗に溶接されていました。

見事P１坂上君が三位入賞。選手の皆さんお疲れ様でした。大分県での九州大会も頑張ってください！

サングラス◀三兄弟

▲試合直前

ある日の さっちゃん


7年に1度の白い龍を
どうしても見たくて
くんち
平日なのに
早く！早く！
三日とも参加！
なのに一度も
龍は見れませんでした。
地元の人の話によると、
通学中のバスから見れたそうです。
くそう…